

お問い合わせ先：南山大学人類学博物館
Phone:052-832-3147 Email:a-museum@nanzan-u.ac.jp
HP:https://rci.nanzan-u.ac.jp/museum/

趣 旨：

現在、南山大学人類学博物館が保管・管理する「博物館資料」は、25万点を超える。考古資料、民族誌資料をはじめ、多くの民俗資料や現代生活史資料、絵地図や古文書を含む文献資料など、その内容は実に多岐に渡る。2026年度人類学博物館紀要では、人類学博物館が現在収蔵する資料の、学術調査・研究の対象としてのさらなる活用を考えることに主眼を置いて、特集「『モノ』再考～【博物館資料】について考える～」を企画した。その執筆者を中心に、それぞれの専門分野の視点からみた、当館所蔵博物館資料の魅力や、さらなる活用の方策などについて、シンポジウム形式で検討する。

登壇者

上峯篤史（南山大学人文学部）
湯屋秀捷（宮古島市総合博物館）
宮脇千絵（南山大学人類学研究所）
永井英治（南山大学国際教養学部 / 南山アーカイブズ）
奥田太郎（南山大学社会倫理研究所 / 人類学博物館長）
鈴木康二（南山大学人類学研究所 / 人類学博物館担当学芸員）

主催：南山大学人類学博物館・南山大学人類学研究所

日 時：

2026年 11月 29日（日）
13:00～16:30（受付12:30～）

会 場：

R棟 49教室
（本学学生を主対象として実施予定）

もしくは オンライン（zoom）

URLもしくはQRコードからお申し込みください。

https://app.nanzan.ac.jp/regform/regist/univ/museum/symposium_mono



申し込み締切：

11月 28日 16時

プログラム：

- 13:00～13:10
趣旨説明（司会：鈴木康二）
- 13:10～15:10
基調報告
（登壇者が20分ずつ話題提供）
- 15:10～15:20 休憩
- 15:20～16:30
総合討論
（司会：奥田太郎 パネラー：登壇者5名）

『モノ』再考

人類学博物館 / 人類学研究所
共同主催シンポジウム

人類学研究所第2回公開シンポジウム

【博物館資料】
について考える